

福山港箕沖地区国際コンテナターミナルのガントリー クレーン1号機損傷事故への対応について

1 要旨・目的

令和6年3月5日に福山港箕沖地区国際コンテナターミナルにおいて発生したガントリークレーン（以下「GC」という。）1号機の損傷事故について、対応状況等を報告する。

2 現状・背景

- (1) 令和6年3月に船舶が接触し、走行装置の脱輪、海側シルビーム（躯体の一部）の変形、固定装置・減速機の損傷によりGC1号機は稼働停止している。
- (2) 令和6年10月に脱輪復旧工事が完了し、その後の詳細調査に基づき、復旧工法等が決まった。

3 概要（復旧工事について）

- (1) 工事内容
海側シルビームの補修、固定装置・減速機の更新
- (2) 完了時期（予定）
令和7年6月頃
- (3) 所要額
185,000千円

4 今後の対応

12月議会において、GC1号機の復旧に必要な所要額を予算計上し、予算成立後、速やかに工事着手するとともに、荷役事業者等と緊密に調整を図りながら、早期の復旧に向け対応していく。

5 その他（関連情報等）

脱輪復旧工事も含め、復旧に要する費用等については、原因者へ全額請求する方針である。

〔位置図〕

